

# みやづ経済ダイジェスト (NO.40)

令和2年3月  
宮津商工会議所

本調査は、小規模事業者の皆様の事業活動支援の一環として、市内5業種100社の小規模事業者等を対象とした景況並びに経済動向等の調査を4半期毎に実施し、集計を行っております。

【調査期間】令和元年7月～9月

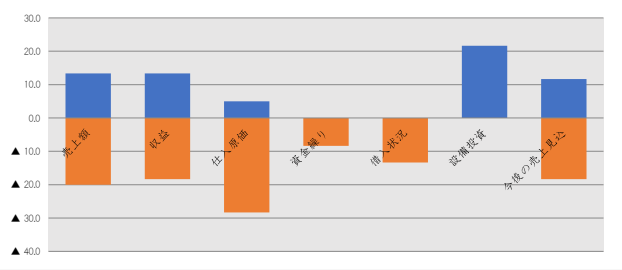
【調査方法】建設業・小売業・卸売業・製造業・観光サービス業の5業種、合計100社を対象にアンケートを実施。（回答企業数30社）

【D1値の算出方法】①かなり増加等=1、②やや増加等=0.5、③不変=0、④やや減少=▲0.5、⑤かなり減少=▲1とし、(①+②) / 全体数×100 - (④+⑤) / 全体数×100でD1を算出する。

※選択肢の目安：「かなり」=20%以上、「やや」=5～20%未満、「不変」=0～5%未満

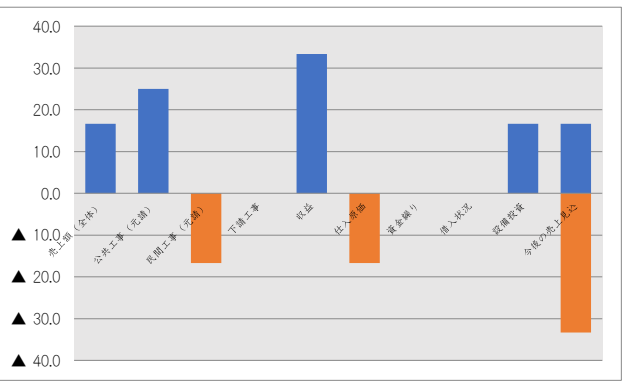
問1 今期の貴社の状況は、昨年と同じ時期と比較してどうですか。また、今後の見通しはどうですか。

全体		かなり	やや	不変	やや	かなり		D1値
売上額	増加	1	6	12	10	1	減少	▲6.7
収益	増加	1	6	13	9	1	減少	▲5.0
仕入原価	低下	0	3	10	17	0	上昇	▲23.3
資金繰り	好転	0	0	25	5	0	悪化	▲8.3
借入状況	減少	0	0	23	6	1	増加	▲13.3
設備投資	低下	1	11	18	0	0	上昇	21.7
今後の売上見込	増加	0	7	13	9	1	減少	▲6.7



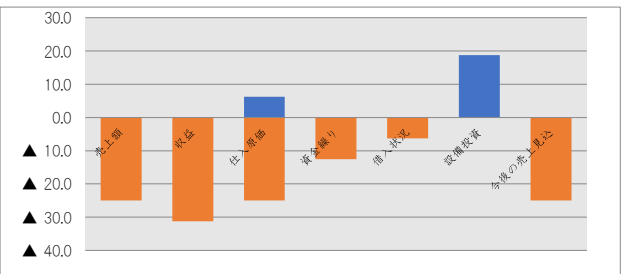
全業種トータルのD1値は前年同期に引き続き全体的に悪化している。売上額、収益に関しては増加している企業もあるもののトータルでは前年同期比と比較すると微減。仕入原価については全ての業種でマイナス（上昇）の結果になった。

建設業		かなり	やや	不変	やや	かなり		D1値
売上額 (全体)	増加	0	1	2	0	0	減少	16.7
公共工事 (元請)	増加	0	1	1	0	0	減少	25.0
民間工事 (元請)	増加	0	0	2	1	0	減少	▲16.7
下請工事	増加	0	0	2	0	0	減少	0.0
収益	増加	0	2	1	0	0	減少	33.3
仕入原価	低下	0	0	2	1	0	上昇	▲16.7
資金繰り	好転	0	0	3	0	0	悪化	0.0
借入状況	減少	0	0	3	0	0	増加	0.0
設備投資	低下	0	1	2	0	0	上昇	16.7
今後の売上見込	増加	0	1	0	2	0	減少	▲16.7



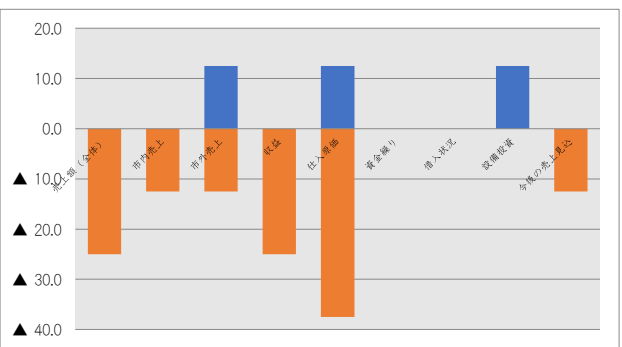
民間工事が▲16.7ポイントと減少したものの、公共工事は+25.0ポイントと増加し、全体の売上額、収益ともに増加となった。

小売業		かなり	やや	不変	やや	かなり		D1値
売上額	増加	0	0	5	2	1	減少	▲25.0
収益	増加	0	0	4	3	1	減少	▲31.3
仕入原価	低下	0	1	3	4	0	上昇	▲18.8
資金繰り	好転	0	0	6	2	0	悪化	▲12.5
借入状況	減少	0	0	7	1	0	増加	▲6.3
設備投資	低下	0	3	5	0	0	上昇	18.8
今後の売上見込	増加	0	0	5	2	1	減少	▲25.0



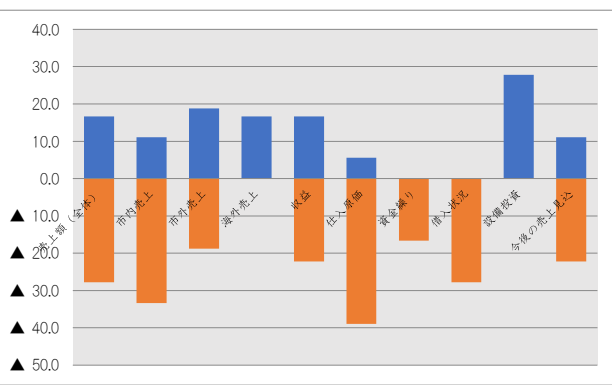
売上額が▲25.0ポイント、収益が▲31.3ポイントと大きく悪化している中、多くの企業が、重点経営施策として「販路拡大」を挙げている。設備投資に関しては消費税軽減税率対策として、レジシステム等の小規模な機器導入が見られた。

卸売業		かなり	やや	不変	やや	かなり		D1値
売上額 (全体)	増加	0	0	2	2	0	減少	▲25.0
市内売上	増加	0	0	3	1	0	減少	▲12.5
市外売上	増加	0	1	2	1	0	減少	0.0
収益	増加	0	0	2	2	0	減少	▲25.0
仕入原価	低下	0	1	0	3	0	上昇	▲25.0
資金繰り	好転	0	0	4	0	0	悪化	0.0
借入状況	減少	0	0	4	0	0	増加	0.0
設備投資	低下	0	1	3	0	0	上昇	12.5
今後の売上見込	増加	0	0	3	1	0	減少	▲12.5



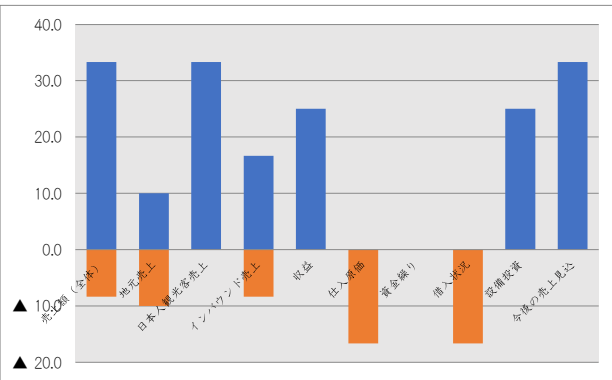
売上額、収益ともに▲25.0ポイントと減少。今後の売上見込についても前年同期から大きく悪化しており、引き続き厳しい状況が伺える。また、回答があった全ての企業が経営上の問題点として「人手不足」を挙げている。

製造業		かなり	やや	不変	やや	かなり		D値
売上額（全体）	増加	1	1	2	5	0	減少	▲ 11.1
市内売上	増加	1	0	4	2	2	減少	▲ 22.2
市外売上	増加	0	3	2	3	0	減少	0.0
海外売上	増加	0	1	2	0	0	減少	16.7
収益	増加	1	1	3	4	0	減少	▲ 5.6
仕入原価	低下	0	1	1	7	0	上昇	▲ 33.3
資金繰り	好転	0	0	6	3	0	悪化	▲ 16.7
借入状況	減少	0	0	4	5	0	増加	▲ 27.8
設備投資	低下	0	5	4	0	0	上昇	27.8
今後の売上見込	増加	0	2	3	4	0	減少	▲ 11.1



全体的にD値はマイナスとなったが、仕入原価が▲33.3ポイントと悪化回答が最も多く、経営上の問題点としても「採算の悪化」が最も多く挙げられる結果となった。

観光サービス業		かなり	やや	不変	やや	かなり		D値
売上額（全体）	増加	0	4	1	1	0	減少	25.0
地元売上	増加	0	1	3	1	0	減少	0.0
日本人観光客売上	増加	0	4	2	0	0	減少	33.3
インバウンド売上	増加	0	2	3	1	0	減少	8.3
収益	増加	0	3	3	0	0	減少	25.0
仕入原価	低下	0	0	4	2	0	上昇	▲ 16.7
資金繰り	好転	0	0	6	0	0	悪化	0.0
借入状況	減少	0	0	5	0	1	増加	▲ 16.7
設備投資	低下	1	1	4	0	0	上昇	25.0
今後の売上見込	増加	0	4	2	0	0	減少	33.3



日本人観光客売上が+33.3ポイントと大きく増加。全体的な売上額、収益ともに+25.0ポイントの増加となった。今後の売上見込についても+33.3ポイントと増加を見込んでいる企業が多い。

### 問2 現在直面している経営上の問題点についてお答えください。（複数選択可）

	建設業	小売業	卸売業	製造業	観光サービス業	合計
①売上減少	1	3	1	3	0	8
②人手不足	2	3	4	2	3	14
③採算の悪化	0	0	0	4	0	4
④仕入価格の上昇	0	2	0	3	4	9
⑤後継者問題	0	2	0	1	0	3
⑥資金繰りの悪化	0	1	0	3	0	4
⑦その他	0	0	0	0	0	0

### 問3 当面の重点経営施策についてお答えください。（複数選択可）

	建設業	小売業	卸売業	製造業	観光サービス業	合計
①経費の節減	1	0	0	4	3	8
②人材の確保	2	2	4	4	2	14
③販路拡大	1	5	1	5	2	14
④設備投資	0	0	0	0	1	1
⑤事業計画策定	0	0	0	1	0	1
⑥業務の効率化	0	1	0	1	3	5
⑦その他	0	1	0	0	0	1

※その他：市街地の誘客戦略（小売業）

ご協力頂きました事業所様、ありがとうございました。